

FUKU-FUKU



超我楽多展

期間 ● 2023年10月7日(土) ~ 11月26日(日)
 場所 ● 横山隆一記念まんが館 企画展示室

超我楽多〈スーパーガラクタ〉展は、横山隆一記念まんが館の収蔵庫で眠ったまま(理由はさまざまだが)になっているものを、資料整理という名目で全部出してしまえ!という試みからスタートしました。紆余曲折を経て「もの」に焦点を当て「みる」ことを大切にしている企画展にしました。通常の企画展であれば、展示品の解説をしたいと思います、この解説が良くも悪くも「みる」ことに影響を与えてしまいます。興味のあ

る事は人それぞれ違います。企画者がいくら解説しようが、「みる」ひとにとっての外れでは意味がありません。特に今回の企画展は「みる」ことを大事にしたいので、情報は「もの」だけから受け取れることが一番良いはずだと考えました。そのため展示品には、番号だけを振って、解説文を付けませんでした。必要以上の資料は「みず」に鑑賞することが望まれる展示でしたが、それでは何か落ち着かない人のために、申し訳程度に解説を手元で見れる資料として用意しました。展示品48種類、総数約4,000点にもなる見応え十分の企画展だったのではないでしょうか。

まず、大前提として、横山隆一記念まんが館に収蔵されている「もの」は、博物館にとっては大切な「資料」です。そのため、「我楽多」という言葉が適当ではないかもしれませんが、「他人からみれば一見ガラクタのようでも、本人にとってはかけがえのない宝物」ですから、私たちにとって収蔵品はまさしく宝物ということになります。超「スーパー」には、とびきりの、まさる、こえる、という意味があります。とびきりのガラ

クタ、何ものにもまさるガラクタ、ガラクタをこえる、というふうにつまえることが出来るかもしれませんが、大前提を踏まえたうえで、役に立たない、我楽多をいくつか紹介します。

【江戸ッ子健ちゃん】新聞未発表原画
 「江戸ッ子健ちゃん」の原画は横山隆一の手元にこの一枚しか残っていません。それは新聞に掲載されなかった作品だからです。なぜ掲載されなかったのかは調査が待たれますが、まんがが掲載されることに価値があるので、この原画は我楽多ということになります。

【ミラー・ギャラク】
 鉄道模型は常設展示の「隆一GARRAGA」に飾られています。ここに入りきらなかったものが収蔵庫に眠ったままになりました。プラモデルは作る本人が楽



【衣服】
 百貨店等で仕立てた良いものだと思います。横山隆一は小柄な体格なので、本人しか着ることが出来ません。衣服には入るのにおいが残りやすいので、まんが館では、においを展示する初めての試みとなりました。着る人がいなくなったものは我楽多ということになります。今回の展示品はそれひとつだけを「みる」と、てんでばらばらに感じられるかもしれませんが、それはそれで面白いですが、注意深く見れば、それぞれつながりがあることを感じられたと思います。これは横山隆一という人物を中心に集まった「もの」だからです。鑑賞する人それぞれが、つながり最終的に行き着く先には、横山隆一という人物の特性を浮かび上がらせることとなります。仕事の面、趣味の面、日常の面、複雑に絡み合っている「もの」が横山隆一を覚えてくれたのではないのでしょうか。そして、横山隆一「ミラー」が「いた」とすれば、大量の有益な情報を得られたのではないのでしょうか。なんとなく「みた」人でも圧倒的物量に驚いたのではないのでしょうか。

第19回
まंगाの日
記念

4コマまんが大賞
&
4コマまんが大賞
作品展

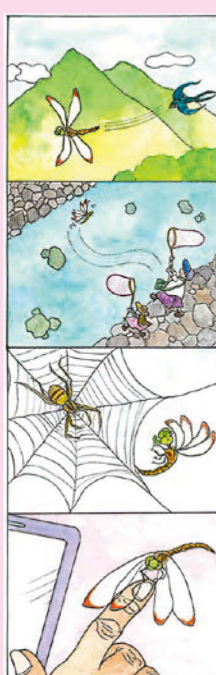
4コマまんが創作の楽しさと高知からのまंगा文化の発信を掲げ、高知市と横山隆一記念まंगा館が全国から公募した「まंगाの日記念・4コマまんが大賞」。

第19回となる今回は、45都道府県と台湾から一般部門632人859点、ジュニア部門558人689点、計1,190人1,548点の作品が寄せられました。
矢野徳さんとくさか里樹さんによる審査の結果、フクちゃん大賞には、一般部門では兵庫県の北原佳代子さんの「ちよっとひと休み」が、ジュニア部門では高知市立鴨田小学校6年の村上辰之介さんによる「熟す」が選ばれました。学校賞は南国市立大篠小学校と高知

市立義務教育学校土佐山学舎が選ばれました。
表彰式は12月9日(土)〜2024年1月21日(日)に開催の「4コマまんが大賞作品展」初日展示会場にて行われます。作品展では応募作品の中から、入賞作品11点を含む一次審査通過作品などを展示する予定です。受賞を逃した作品の中から、来場者の投票による「ギヤラリー賞」を決定します。是非お気に入りの作品にご投票お願いします！

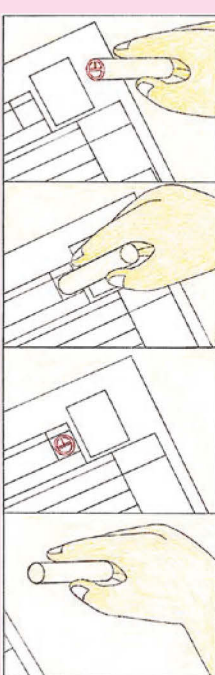
一般部門

フクちゃん大賞★「ちよっとひと休み」



北原佳代子

高知市長賞★「無題」



丸山健

やなせ兎賞★「今度はこの砂か…」



P.N.920

よさこい賞★「救世主」



岡林晃史

よさこい賞★「めまいの原因」



喜久山悟

よさこい賞★「正体」



P.N.タイケビデミ

ジュニア部門

フクちゃん大賞★「熟す」



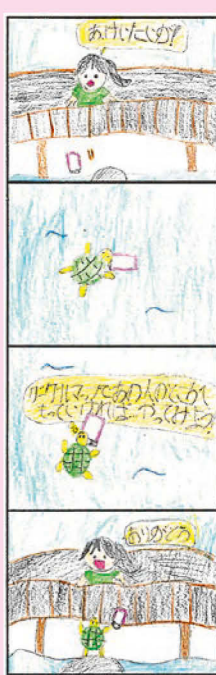
村上辰之介

やなせ兎賞★「ギトギトネーム」



岡田柚葉

よさこい賞★「けいたい落ちちゃった!」



岡村侑芽

よさこい賞★「人間食い」



金辺冬花

よさこい賞★「ヒーロー」



堀江明人

まんが体験イベント めざせ！まんが職人

開催日 ● 2023年7月29日(土)、30日(日)、8月18日(金)、19日(土)、21日(火)、22日(水)
 ※8月8日(火)、9日(水)に実施予定だった4コースは、台風6号の影響で21日(火)、22日(水)に振り替えて実施しました。
 場所 ● まんがライブラリー2

夏休みの大人気イベント「めざせ！まんが職人」をコロナ禍以前の規模で開催しました。4年ぶりの開催で不安なところもありましたが、6つの工作で募集を行ったところ、定員を大きく上回る応募がありました。実施後のアンケートでは、ほとんどの子どもたちが初めての参加と回答があり、4年の月日の長さとともに、工作イベントの人氣ぶりを目の当たりにしました。キャラクターを思い切り大きく描いたり、自分なりのストーリーを絵に込めようとしていたり、たくさん描く子、ディテールに凝る子、悩んで筆が進まない子、お父さんお母さんの方が真剣になって工作をしているなど……、本当に様々でしたが、子どもたちが笑顔で工作に挑戦してくれてとても嬉しく思いました。



子どもも大人も頑張りました！



工夫を凝らして自分だけの工作を作りました

また、今回初めての試みとして、まんが体験イベントに参加してくれた子どもたちの保護者の皆さんを対象に、まんが館常設展の無料券を配布しました。初めて展示を見ましたという感想もいただき、体験イベントと一緒にまんが館全体を楽しんでいただけたのなら幸いです。

マンガの画材 アイシースクリーン展

期間 ● 2023年
 7月15日(土)～8月27日(日)
 月曜休館
 (ただし7月17日(月・祝)は開館)
 場所 ● 横山隆一記念まんが館
 (ただし7月17日(月・祝)は開館)
 企画展示室
 W S ● 2023年7月16日(日)
 10:00～11:30

まんがを描くための道具「画材」のひとつ、スクリーントン(トーン)に注目したこの展覧会では、トーンのメーカー「G・Too」さんにご協力いただき、トーン販売開始50周年を祝ってまんが家から寄せられたイラストや、使用したトーンと原画と一緒に展示するとともに、トーンの歴史や製造工程を紹介しました。特にお客様の注目を集めたのは、作画工程の映像上映でした。どのようにトーンが貼られていくのか、普段目にするのではないその手元・手法に、多くのお客様が足を止め10数分の上映を最後までご覧になられている様子が印象的でした。

会期2日目は、高知漫画グループくじらの会の岩神義宏さんを講師に、線画にトーンを貼ってイラストを仕上げるワークショップを開催しました。参加した小学生たちは初めて見るスクリーントーンに興味津々。先生から貼り方の説明を聞くとすぐに取り掛かり、様々な絵柄のトーンを使って作品を仕上げました。皆が同じ線画を使っても、トーンを貼る場所や模様によって全く印象の異なる絵に見える、ということが分かり、まさにトーンがまんが表現に果たしている役割を体感したワークショップとなりました。

フクちゃん、早稲田に 遊びに行っちゃったよ！

早稲田大学歴史館企画展「フクちゃんワセダダイガクノ巻」
 期間 ● 2023年7月21日(金)～10月1日(日)
 場所 ● 早稲田大学歴史館

早稲田大学歴史館は、早稲田大学の本部構内の1号館にあり、大学の歴史(過去・現在・未来)に関する資料や情報を紹介している博物館です。この夏、ここで開催された企画展「フクちゃんワセダダイガクノ巻」に、横山隆一記念まんが館から40点以上の資料を提供しました。

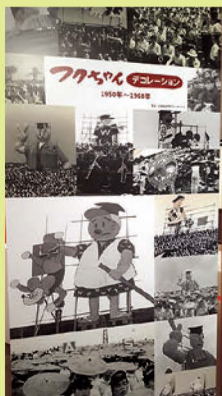
隆一の代表作「フクちゃん」は、トレードマークの角帽が早稲田大学の学帽に似ていることから、1950年～2003年まで50年余りの間、ワセダのマスコットとして使用されてきました。戦後、早稲田大学の応援団長がフクちゃんの使用許可を求めてきた際、学生に任せると卒業していなくなるし、学校相手では荷が重いということから、早稲田の商店街の世話役の方に入ってもらって任せたいということ。伝統の野球の早慶戦では早稲田はフクちゃんの巨大な看板やデコレーションを作っていました。隆一はこのような実績により、1999年3月、早稲田大学芸術功労者表彰を受けています。

当館の収蔵庫ですと眠ったままだった応援用の傘(神宮球場・ヤクルトの応援より古い)や、早稲田南門通り商店街のノボリやTシャツ、早稲田校友証書・顕彰状などを見ていただくことができます。

ちなみに、現在の早稲田大学のマスコットは同大の卒業生でまんが家・弘兼憲史さんの作のWASEDA BEAR(ワセダベア)。創立者であるオオクマシゲノブにちなんで大きなクマ。今の学生さんたちにフクちゃんも知ってもらえたら良かったです。



応援傘



フクちゃんデコレーション

行事案内

2023冬のまんが体験イベント 「まんがで遊ぼう! プレクリスマス」

恒例の冬のまんが体験イベント「まんがで遊ぼう! プレクリスマス」を、4年ぶりにまんがライブラリーで実施します。①まんがカレンダーをつくる

②まんがクリスマスカードをつくる③まんが缶バッジをつくる④まんがミニクリスマスツリーをつくる⑤の4つの工作でクリスマスを楽しくもつ!



開催日 ● 2023年12月23日(土)
場 所 ● 横山隆一記念まんが館 まんがライブラリー2
時 間 ● 10:00~16:00
参 加 ● 無料。ただし「4コマまんが大賞作品展」でギャラリー賞への投票が必要
主 催 ● 高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

行事報告

教員のための博物館の日 in 横山隆一記念まんが館

この事業は、学校教育で「まんが」や「横山隆一記念まんが館」を活用してもらう取り組みの第一歩として、学校教職員を対象に開催しました。

まずは「館の存在や横山隆一を知ってもらう」ということに主眼を置いて内容を考え、常設展示の中でも特に、隆一が立ち上げたアニメーション制作会社「おとぎプロ」に注目し、アニメーション作品の鑑賞・解説を行いました。

また、開催中の企画展「マンガの画材 アイシースクリーン展」の自由観覧、オリジナル缶バッジの作成を行いました。

今回、学校教育に館を活用してもらうには、先生方との対話が沢山必要だと感じました。先生方、「こんなことできないか?」「あんなことをしてみたい」など何でもご相談ください。まんが館は全力で応えたいと思います。

開催日 ● 2023年8月17日(木)
場 所 ● 横山隆一記念まんが館
時 間 ● 10:00~11:30
参加費 ● 無料

行事案内

まんが・漫画・マンガ展! 2024 交流コーナー作品募集のご案内

地元高知で活動する2つのまんがグループ、高知漫画集団・高知漫画グループくじらの会による合同作品展「まんが・漫画・マンガ展! 2024」を2024年3月16日(土)~3月31日(日)に開催します。今回も参加企画として、一般の方のまんが作品を募集し、会場に展示する「交流コーナー」を設けます。A4サイズでオリジナルのまんが作品であれば、コマ数やテーマなどは自由に決めていただいて構いません。そのほかの詳しい募集内容は、まんが館のホームページをご覧ください。どしどし応募ください!

行事報告

「まんさいーこうちまんがフェスティバル2023」を開催しました

高知市のまんがのイベント「まんさいーこうちまんがフェスティバル2023」を11月4日(土)、5日(日)に開催しました。記念すべき第20回となった今回のまんさいは4年ぶりの実地開催で、会場となる高知市文化プラザ全体を使用して、様々なブースやイベントで盛り上がりました。

大ホールのステージイベントのひとつ「マンサイダー6」がザ・ビギンズ」では、まんさい実行委員会が制作したまんさいオリジナルキャラクターである「マンサイダー6」のまんが(月刊少年シリウス12月号掲載)に、ゲスト声優が生アフレコを行いました。昨年のシンポジウムで立ち上がった企画に端を発したこのイベントには、月刊少年シリウスを片手にたくさんのお客様が来場され、普段滅多に見られない声優の技を堪能していました。



館のご案内

開館時間 9:00~18:00
休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)
年末年始(12月28日~1月4日)

常設展示観覧料

一般410円
団体(20名以上)320円・65歳以上200円・高校生以下無料
身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円

お問い合わせ先

〒781-9529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館
TEL:088-883-5029
FAX:088-883-5049
URL:https://www.kfca.jp/mangan/
E-mail:mangan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、高知市文化プラザかるぼーと3階の入口よりご入場ください。

新着図書(2023年8月~10月)

高知出身まんが家
[Fate/stay night [Unlimited Blade Works]] 3巻 森山大輔(漫画), TYPE-MOON(原作)
『くりこびより』1巻 雪本愁二
『僕の毒姫は今日もかわいい!』1~3巻 咲竹ちひろ
『DYS CASCADE』4巻 中川海二
オススメピックアップ!
『3月のライオン』17巻 羽海野チカ
『呪術廻戦』24巻 芥見下々
『ようこそ!パラダイス劇場へ』 江野宛季(作画), 劇団ひとり(原作)
『ミステリと言う勿れ』13巻 田村由美
『葬送のフリーレン』11巻 アベツカサ(作画), 山田鐘人(原作)
その他、続々入荷中!

フク話

2025年のNHKの朝ドラがアンパンマンの作者・やなせたかし先生とその奥様の話となるというニュースが飛び込んで来ました。2023年前期の朝ドラ「らんまん」・牧野富太郎関連で高知が盛り上がり、その余韻も冷めぬうち、またまた高知出身者が取り上げられて、すごい! 紛争が各地で起こっている今、やなせ先生の平和への思い、大事に受け継ぎたいです。「らんまん」では高知の自然科学系の博物館やイベントに補助金が出ていましたが、今度はまんが系に税金がくるのか?! 一もドラマに登場するといいなあ! 役者は誰がいいかな…(穂)